

諮 問 書

京都市持続可能な行財政審議会会長様

京都市では、市民生活の安心安全を守り、福祉、医療、子育て支援、教育を維持・充実させると同時に、文化を基軸としたまちづくりにより、都市格・都市の魅力を大きく向上させてきました。

その一方で、構造的に財政基盤がぜい弱であることに加え、三位一体改革以降、地方交付税が大幅に削減される中、全国トップレベルの福祉・医療・子育て支援・教育の維持充実や、市民の安心安全を守るために不足する財源を、将来の借金返済に充てるべき公債償還基金を取崩して補てんせざるを得ない状況が続いており、極めて厳しい財政状況にあります。

絶えず変化する社会経済情勢の中で、市民の今と未来のために真に必要な施策を講じ、今後も京都が魅力あふれるまちでありつづけるためには、景気変動等にも耐えうる足腰の強い「持続可能な行財政」を確立することが何よりも重要であり、そのために進めるべき歳入・歳出両面からの改革について、貴審議会の御意見を頂きたく、ここに諮問します。

令和2年7月2日

京都市長 門川 大作